平成 30 年５月 15 日

各　　位

会 社 名　　ワ　タ　ミ　株　式　会　社
（コード番号 7522　東証第一部）
代表者名　　代 表 取 締 役 社 長　　清水 邦晃
問合せ先　　取締役（経営企画本部管掌）　　小田 剛志
（TEL 03-5737-2784）

業績予想値と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 29 年５月 15 日に公表した平成 30 年３月期の連結業績予想と実績値につきまして、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。また、下記の通り特別損失の計上をすることをお知らせいたします。

記

１．平成 30 年３月期通期連結業績予想と実績値との差異（平成 29 年４月１日～平成 30 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	96,000	500	750	100	2 円 55 銭
今回発表業績(B)	96,458	656	1,636	150	3 円 86 銭
増減額(B－A)	458	156	886	50	1 円 31 銭
増減率(%)	0.4	31.3	118.2	50.9	51.4
＜ご参考＞前期実績（平成 29 年３月期)	100,312	182	717	△1,833	△46 円 89 銭

【差異の理由】

当連結会計年度においては、国内外食事業の立て直しに注力し、「和民」「わたみん家」からの業態転換として「ミライザカ」「三代目鳥メロ」を展開するなど、売上獲得、収益改善施策を講じてまいりました。これらの取り組みにより、国内外食事業は、既存店売上高前年比が 105.3%となり、当初計画を上回ることとなりました。

また、撤退を余儀なくされた店舗にかかる営業補償金の受取りによる営業外収益も想定を上回ったことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が予想を上回る結果となりました。

２．特別損失の計上について

当連結会計年度においては、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、閉店の意思決定を行った国内外の外食店舗及び収益性の低下により固定資産の減損対象となった国内外の外食店舗等について減損処理を実施し 849 百万円の減損損失の計上を行います。

以　　上